



JR 関西本線を将来につないでいくため 利用促進と電化 に向けて取り組んでいます

現在の関西本線の運行本数は1時間に1本程度で、他区線との接続も決して良いとは言えず大きな課題です。

しかし、鉄道は一度廃止になると、再び整備・敷設されることは限りなく難しいと言われています。

私たち『JR 関西本線利用促進と電化を進める会』は、廃線によって市民サービスが届きづらくなったり、沿線に暮らす皆さんが心の支えを無くしてしまったりすることのないよう、利用促進に努め、現在ある交通インフラを守っていきたいと考えています。

JR 関西本線利用促進と電化を進める会とは

民間企業・各種団体・自治体・個人で協力し合い
利便性向上への要望活動や利用促進に取り組む団体です。

みんなで できること

通学・通勤・出張・旅行の際、**関西本線を利用すること**です。2021年3月に加茂～亀山間でもICOCAなどの交通系ICカードが使えるようになり、関西本線が便利になりました。



JR 関西本線利用促進と電化を進める会のあゆみ

国鉄分割民営化の翌年の昭和 63 年（1988 年）11 月 28 日、伊賀の北部地域の民間企業・自治会などの各種団体・上野市をはじめとする 5 市町村・趣旨に賛同する個人からなる「JR 関西本線複線・電化を進める会」が発足されました。地域活性化を目的に、民と官が総ぐるみで運動する会として地元住民の機運を高める活動を実施してきました。平成 29 年（2017 年）からは会の名前を「JR 関西本線利用促進と電化を進める会」と改め、利用促進事業を実施しながら、関西本線の利便性の向上にむけ、JR 西日本との相互理解による信頼関係を構築し、連携協力しながら地域と線区の活性化に取り組んでいます。

活動と関西本線の利便性の向上（主なもの）

平成元年	関西本線整備近代化に向けた署名運動（沿線 5 市町村、署名総数 31,772 人）		
平成 5 年	JR 新型ディーゼル車両「キハ-120 型」の導入	平成 6 年、9 年	JR ダイヤ改正による増便（上下計 62 便）
平成 23 年	JR 第 2 土曜日の昼間運休措置の解除	平成 24 年	JR 亀山駅での乗継時間の改善
令和 3 年 3 月 13 日	JR 加茂～亀山駅間 IC カード利用可能エリア拡大		

JR 関西本線利用促進と電化を進める会 主な取り組み内容

- 国・三重県・西日本旅客鉄道(株)・東海旅客鉄道(株)など関係機関等に対する要望・陳情活動
- 利用促進に係る活動（観光客誘致、地域活性化活動の強化、沿線ウォーキング実施）
- 電化促進に必要な情報の収集等、必要性についての PR 活動
- 関西本線各駅施設の改善、ダイヤ改善など利便性向上に向けた JR への働きかけ

会員募集中

皆さんも会員になって取り組みに参加しませんか？

会の趣旨にご賛同いただきご入会を希望される方は

入会申込書 入会フォーム にて事務局へお知らせください。

年会費 個人会費 1,000 円 団体 5,000 円 企業 10,000 円

